

## 平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 令和2年3月6日

都市名・国 栃木県日光市

取組の名称	広島平和記念式典派遣事業
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ( )
テーマ・目的	平和の大切さを感じ取ることや、命や平和の大切さ、世界遺産への尊厳を多くの人たちに広めることなど。
対象者 (年齢・学年、人数等)	中学2年生 34名 (例:12歳の子ども60名、保護者や市民30人など)
実施場所	広島市、日光市
実施期間	令和元年8月5日～令和元年8月7日(3日間) (平成12年より毎年実施)
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣事業日の約1か月前に、派遣生徒を集めて事前研修会を行う。生徒たちは行動班ごとに分かれ、親交を深めることや、現地で学ぶことについての理解を深める。</li> <li>派遣当日は、平和記念資料館の見学や平和記念式典への参加の他、被爆者による講話を聴講することを通して、命や平和の大切さについて学ぶ。また、原爆ドームや厳島神社といった世界遺産の見学を行うことにより、世界遺産について理解を深め、日光市民としての誇りを高める。</li> <li>派遣終了後、生徒たちは体感した内容を報告会にて発表する。報告会には市長をはじめとする来賓の方や市民の方々が参加し、命や平和の大切さ、世界遺産への尊厳を多くの人たちに広める。</li> </ul>	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒たちの感想として、平和記念資料館にある遺品などの現地を目にすることで、原爆による被害を強く感じ平和を願う気持ちが強まったと述べていた。</li> <li>また被爆者講話の反応では、「私たちも、原爆を体験していない人たちに伝えていかなければならないと思いました。」というものがあつた。</li> </ul>	
<p>成果</p> <p>多くの生徒の平和に対する意識が高まり、学んだことを周囲の人々へ伝えることが出来た。</p>	
<p>課題</p> <p>真夏の派遣であるため熱中症対策や、それに伴う行程の再検討。</p>	
<p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>パンフレット等の現地に関する資料で事前の理解を深めた。</p>	
<p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。